

2017年9月20日

Nissan Design America 大橋 仁

初めまして、Nissan Design America の大橋 仁と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

今日は自己紹介と共に私がNissan でどのような事をしているのかお話しさせていただきたいと思います。

私のオフィスはLa Jollaにあり、社員は、デザイナー、モデラー、デジタルモデラーなど合計で70名ほどです。オフィスにはNissan, Infinitiのスタジオがあり、それぞれのデザイナー、モデラー、デジタルモデラーが一丸となって働いています。ではそれぞれどのような事をするのか、簡単に説明させていただきます。

これは開発に関わる活動を抜き出したものですが、スタンダードなプロジェクトで車を売り出すまでに約2～3年掛けて一つの車を開発します。そして今日は2段目にあるデザインアクティビティについてお話しさせていただきます。

先ずスケッチ、通常スケッチの前にコンセプト作りがありますが、コンセプトはプロダクトプランニングが中心となり作成されます。次にレンダリング作成です。多数のスケッチから、これはというアイデアをさらにアイデア展開し、まとめあげたものをレンダリングと呼んでいますが、グローバルなプロジェクトであれば各リージョンで15案程度、日産は日本の他にイギリス、中国、アメリカの4拠点デザインスタジオがありますので、合計40～50案のレンダリングがコンペティションに提出されます。その中から10案程度が次のステップ1/4クレイモデルに移行されます。その後、3案に絞り、最終的に1案選ばれます。次に選ばれた案を更にFeasibilityを上げる為のクレイ及びデジタルモデリングを行っていきます。

では、私がこれまでどのような仕事をしてきたのか、ご紹介させていただきます。

神奈川県厚木市にある日産テクニカルセンターに入社したのは1984年、それ以降主にエクステリアデザインを担当し、多数のプログラムに参加しました。93年にはイギリスに長期出張しTerrano2という車を担当しました。

その後、94年にミシガンのファーミントンヒルズにあるテクニカルセンターに赴任し、アメリカ専用車の開発に携わってきました。98年までここで働き、その年の6月に帰国しました。しかし、アメリカでの仕事や生活の充実感が忘れられず、数か月後にミシガンに戻り、インテリア部品サプライヤーのLEAR Corporationという会社に転職しました。

Learはインテリアの会社、特にシートがメインの会社でしたので、シートのデザインの仕事がとても多かったです。

メインのカスタマーはGM, Ford, Chryslerで、当時は外注の仕事がどんどんと増え、5人でスタートしたデザインチームもあつと言う間に3倍くらいに増えました。その間、レイオフも頻繁にあり人の出入りの多さに驚きました。

このシート、キャデラックのシートですが、improveして欲しいというリクエストがありました。最終完成モデルはとても喜ばれ、その後仕事が更に増加しました。

フォードからはシートデザインだけではなく、インテリア全体の提案をリクエストされるようになりました。私が入社した当時LEARは5万人程度の会社でしたが、この頃になると、数回にわたる大規模な合併が行われ、12万人規模の会社となり、当時のサプライヤーとしては4～5番目の規模となっていました。

多くのOEMからインテリアデザインの提案をリクエストされました。

Mazdaに対しても積極的にLearのCapabilityを売り込み、日系のインテリア部品開発のTier1としてプロジェクトを勝ち得ました。アメリカ国内に於いてもインテリア以外にエクステリアデザインも含めてスペシャルバージョンなど提案のリクエストもありました。

Hyundaiのプロジェクトでは、コンセプト提案からの依頼があり、経験不足ではありましたがカラーデザイナーと協力し、トレンドリサーチ、コンセプト提案を行いました。

このスケッチが最終的に選ばれ、それをベースにデジタルモデル、1/1スケールモデルを作成し、Hyudailに対し提案しました。

GMは最大の顧客だった為、依頼があればかなりのことまで対応しました。当時フルバンのコンバージョンというものが流行っていましたが、それをGM自らつくるというコンセプトがあり、それをモデル化しました。GMのエクゼクティブが我々のCapabilityを評価し、最終的にプロダクション化することになりました。予算の制限があり、不満足な部分もありましたが、ここでの成果はLEARにとって大きく、この年の年末に特別にストックオプションやかなりのボーナスをいただくことが出来ました。その後、私は3つのグループのマネージャを依頼され、かなり忙しくなっていました。それと同時に日産からオファーをいただいたので、2003年に日産デザインの現地採用として復帰させていただきました。

Nissan Design Americaではプロダクションデザインのマネジメント、デザインQualityの確保をメイン業務としています。昨年Maxima Titanのプロダクションデザインに携わりました。うちのスタジオには世界でも指折りの若い優秀なデザイナーもいまして、彼らによってこのようなショーカーのデザインも開発されています。以上が日産での私の仕事ですが、少し私の趣味についてお話しさせていただきます。

私の趣味の一つは、Photographです。撮影した瞬間楽しめ、その後永遠に鑑賞できる。どうしたら撮った瞬間の感動や色彩を表現出来るか？永遠の課題です。しかし最近の一眼カメラであればブレることもなく、誰でも楽しめる趣味になりました。積極的にやればエクストラインカムにもなります。

ゴルフやテニスなどスポーツも大好きですが、スポーツや写真などの趣味を通じて人と繋がっていくのも趣味のひとつです。その他、real estate, investment、お金をセーブする事、貯める事なども好きです。リスクな事はしない、というか、ギャンブルは得意ではないですが、確実にインベストして良いリタイヤメント、健康的なリタイヤメントに向けて考えるのも趣味の一つです。長くなりましたが、以上で自己紹介を終了させていただきます。